

[ペルシモコートの開発コンセプト]

再生可能な原材料だけを使用し、
石油化合物や重金属類を一切使用しない自然に優しい塗料で
お部屋をクリーンにすること。

[ペルシモコートの特徴]

- ① ホルムアルデヒドなどのシックハウス原因物質を吸着中和。
- ② 無垢材の質感や調湿機能を損なわない。
- ③ 自然塗料が持つ悪臭がほとんどない。
- ④ 柿渋の持つ色の経年変化がなくいつまでも美しい色を保つ。
- ⑤ 鉛、カドミウム、水銀、ホルム・キシレン・ベンゼンなどの揮発性有害物質や重金属を含まない。

[塗り方レシピ]

- スポンジ（食器洗いスポンジまたは、洗車スポンジ）
● ウエス（綿 100% の使い古しの下着など）
● サンドペーパー 240 番～320 番（下地調整） 800 番～（仕上げ用）

- ① 塗料は良く振って攪拌してからご使用ください。
- ② 塗装面をペーパー 320～ を掛けて整え、汚れ、ゴミを取り除きます。＊必ず乾燥した材にご使用ください。
- ③ スポンジで、少量を木目に沿って、擦り込むように塗って下さい。
- ④ 塗装後 5 分～10 分のちに、浸透しきらない余剰塗料をウエスで拭き取り磨いて下さい。
- ⑤ 約 12 時間で触指乾燥します。（カラーは 24 時間～）
※触指乾燥＝指で触れて塗料がつかなくなる状態。 ※完全乾燥までは、約 3 週間程度かかります。
- ⑥ 触指または完全乾燥後にペーパー 800～ がかかるく、磨くと滑らかで美しい仕上がりとなります。
（ペーパー後は必ず拭き磨きして下さい）

- カタログは予告なく価格及び内容等を変更することがありますのでご了承ください。
- 改良のため、予告なく仕様及び価格を変更することがありますのでご了承ください。
- 印刷物につき、写真と実物は多少相違することがございます。
- 本パンフレットに記載されている、写真・文字等の無断転載を禁じます。

お問い合わせ

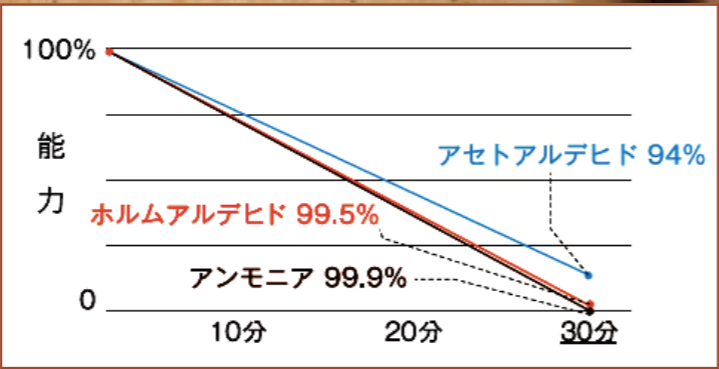


柿渋タンニンと植物素材から生まれた「人と環境」にやさしい100%自然塗料。
シックハウスの原因物質ホルムアルデヒドの吸着・中和を実現！

Opus



ペルシモコートは
室内の空気を浄化します。



[消臭能力]

(6畳の部屋に 10㎡程度塗布すれば効果がある)

[成分]

柿渋エキス	古来より木材保護塗料として用いられた柿渋より、柿渋タンニン※1を抽出。臭いや、色といった柿渋の難点を無くし、高い効能だけを取り出しました。
荏胡麻油	荏胡麻油の種から得られる植物油 α-リノレン酸を主成分とした乾性油で、食用にも用いられる。
ひまし油	ヒマの種子から得られる植物油 保湿性、湿潤性に優れる。薬品にも用いられる。
桐油	湯桐の種子から得られる植物油 撥水性に優れた皮膜を作る。古くから神仏仏閣のお堂の修理に使われた。
米ロウ	米ヌカから得られる植物蠟 ツヤがあり、シットリした仕上がりになる。
カルナバロウ	ブラジルロウヤシの葉から得られる植物蠟 大理石のような光沢を持ち、お菓子のコーティング等にも用いられる。
水	飲用も可能な特殊マイナスイオン還元水 高アルカリ性で、多量のマイナスイオンを含み、防カビ・消臭・除菌作用など高い機能を持つ。

※1 柿渋タンニン: 有害物質や悪臭の原因を吸着し中和します。ホルムアルデヒドなどの吸着・分解・中和・消臭する優れた機能を持っています。700年前の平安時代より奈良法隆寺などの歴史的建造物の木材保護としても使用されていました。また、食品や酒類の防腐剤・薬に使用される安全な自然由来の素材です。

ペルシモコートは柿渋による色の経年変化がおこりにくい
柿渋エキスを使用!!
だから出来る! 豊富なカラーバリエーション!!

[カラーラインナップ 15色]



商品コード 330 クリア



商品コード 331 ホワイト



商品コード 332 アイボリー



商品コード 333 イエロー



商品コード 334 オリーブ



商品コード 335 さくら



商品コード 336 ネイビーブルー



商品コード 337 ぶどう



商品コード 338 ブラウン



商品コード 339 ユーロブラウン



商品コード 340 朱色



商品コード 341 ライトグリーン



商品コード 342 ライトグレー



商品コード 343 ライトブラウン



商品コード 344 ライトブルー

[ペルシモコートの消臭力]

悪臭の原因	アンモニア	トリメチルアミン	硫化水素	メチルメルカプタン	酢酸	ホルムアルデヒド	アセトアルデヒド
柿渋タンニン	99.9%	98.5%	94.0%		98.0%	99.5%	99.5%
イオン還元水		81.3%	99.9%	90.0%			

※印刷物につき、写真と実物とは多少相違することがございます。